

2 - 3 . 保護者アンケート結果 (自由回答)

問 2 3 民間テニス事業者との連携に関して事業者に望むこと

コートの利用料を、学割料金など安価に利用させてもらいたい。
民間テニス事業者は、積極的に普及活動(硬式テニスの)を実施すべきである。 生涯スポーツとしてテニスを考えた場合、中学校から硬式を経験した方が良いと思うし、コート等施設が問題ならば、民間テニス事業者は積極的にコートを開放すべきである。土・日はともかく、平日の夕方ならさほど問題はないように思えるし、テニス人口を増す事が、テニス自体の発展、テニスクラブの発展につながると思う。
コート等の設備を割安で貸出して欲しい。技術面でのアドバイス等して欲しい。
楽しむテニスと闘うテニスは別次元の問題だが、闘うテニスの民間テニス事業者の指導レベルの低さとジュニア選手のレベルの低さはおおむね連動すると思われる。
近い将来、実現されます事を楽しみにしております。
テニスが好き、テニスをしたという気持ちがあれば、基本的にうまくいくのではないかと考えている。
学校にテニス部がないので、安い費用で回数を多く受講できれば・・・
一般より安い料金で指導等して欲しい。マナーや安全に対する指導を厳しくして欲しい。
子ども達が充実した練習が行なえる様、専門知識の有る指導者に教えていただけるのはうれしい事ではありますが、民間テニス事業である限り、営利を目的とされるのは当たり前だと思います。それが行き過ぎになったり、また学校教育の中での部活動ですので技術上達のための指導になったりしないかという不安も多少あります。
都心のある学校なので、敷地の問題などで硬式テニスがないと思われるので、積極的に学校にアプローチしてみたいと思います。
中学校の教職員が将来移動等により不在となった時、速やかに民間の方の力が借りられれば大変助かります。費用の面でも協力頂けるよう話し合っておく必要があると思います。
部活動に関しては、校内で活動できる範囲でした方が良いと思います。 地域活動で社会人が利用しやすいように、民間の施設を充実してほしいです。
さまざまな理由から、50人～60人のテニス部員が、全員で民間のテニス施設を利用することは不可能であるが、その一方で部活だけでは、技術の向上は難しい。テニススクールと部活のどちらを優先させるかという板ばさみに困っている。テニスは部活といっても個人競技なので、実力の格差は仕方ないが、経験豊富な指導者のほうが適切なアドバイスでテニスにむかう姿勢がより良いものになっていくと思う。精神的にも肉体的にも大きく成長するこの中学校という大切な時をもっと充実させる方法はないかといつも思う。
ジュニア利用は格安料金で。フォームチェックを定期的に。
プロの世界では技術が日々進化しているが、アマチュア、特に学校の部活動の場合はそういう新しい情報や技術が取り入れられている事がまだまだ少ないように思う。そういうものをどんどん提供していただきたい。息子の学校の場合は大学生のコーチも多くレベルも高いが、やはりコートの数も限られている事から、民間テニスクラブへ個人的に加入している生徒が多い。学校が民間のテニススクールと連携すればそういうことが無くなると思う。
近年、テニス事業者は、日本各地で、会員数の低下、テニス人口の減により経営難となり、廃業する先を多く見受けます。是非とも、スポーツ(テニス)の有効性を青少年に感じさせ、国(全体)の教育システムの見直しが必要と思われる。
中高生が練習するので、中1、中2はほとんどコートに入れない。そのような時、近くのコートを借りて練習できれば・・・と思う。そのコートにスクールコーチがいて指導してくれれば身が入ると思う。
学校の部活動なのだから、なるべく学校の方針に重さをおいてほしい。営利・宣伝目的に一部の生徒の活動を利用しないほうが望ましい。あくまでもよい条件で活動や技術レベルがのびる協力があって欲しい。
基本は厳しく、きっちりと教えて欲しい。
学校の部活動は時間的な制約があるので、民間業者のコートが近所に無い限りは、まず普通の練習での利用は無理と思われます。又コート利用料も安価でないと経済的負担が大きくなる。また、レベル差も出てくるので、現実的には専門的知識、経験から学校部活動ということを認識して指導して欲しいと思います。

テニスの場合、民間のクラブに通っている子がずばぬけてうまく、学校の部活だけやっている子は、あまりうまくないのでかわいそうです。少しでも差をなくすために、民間のテニススクールの指導力のあるコーチが来て教えてくれれば、もっと上手になれると思う。上手になれば学校の部活も楽しくできると思うので学校にコーチを派遣していただけることを希望する。

学校の部活動と、テニススクールの時間帯の調整が難しく、部活動が終ってからスクールに通いたくてもなかなか実際あまり行けていないので、スクールの時間帯の選択肢を増やしてほしい。

アンケート調査趣旨を十分理解し、大いに賛同致します。公立学校での硬式テニスの普及が不十分の為、小学校からやってきた子ども達にとっては、十分に発揮できる機会がありません。是非、健全育成の為に、多感な年令の頃にうちこめるスポーツを充実させていって下さい。テニスは費用がかかるので、安価な利用料金で楽しみ、学べることを希望します。

中学生、高校生が部活動として利用する場合は、割引利用料金にしてほしいと思います。

中学の部活として回答しました。特にうちは公立ですし、高等技術の取得よりも教育の一環としての性格を重視します。高校になればまったく違った回答になるでしょう。学校と事業者の連携では、技術的また指導方法などの勉強会のようなものを教職員対象に聞かれてはいかがでしょうか。もう一つコート上、又、試合中のマナーは必ず厳しく教えていただきたいです。技術などよりも。

民間のテニススクールへ通わせているのは、テニスが一生やっていけるスポーツで、手軽なスポーツなので、ずっと続けて欲しいからです。又、学校生活で、友達とぶつかったり、傷つけたり傷ついたり（精神的に）している時、まったく顔ぶれの違うテニススクールへ行くことにより、本人が少し気ばらしている様子もみられます。だから、学校に、テニス部（硬式）ができてほしい気持ちもありますが、このまま民間のスクールで続けて欲しい気持ちもあり、今はなんとも言えません。

学校（部活）以外で、もっと練習をする為に、コート进行りるとき、もっとリーズナブルな料金にしていただくと、もっと利用しやすくなると思います。

技術指導だけでなく、情操教育の面からも、青少年の指導にあたっていただきたい。学校教育と大いに連携されることを望みます。

競技としてのテニスを指導して頂く場合、勝敗よりもフェアなプレーを心がけることに重点を置いて頂きたい。民間クラブが技術中心の指導とするならば、学校での部活は教育の一環であるから。

昨今の生徒レベルの大会をみると、そのような視点に欠け（アンフェアであっても）勝つことが重要と見られてもしかたがない指導者が数多く見かけられる。（特に民間の事業者）

テニスをもっと普及させるために、料金を安くして、子ども達がたくさん通える様にしてほしい。

テニススクールというどうしても金銭的に高いというイメージが大きいです。また、紳士、淑女のスポーツという意味で、格式を重んじる所もあるようです。

そういったクラブと、青少年育成のための施設は、やはり分けるべきでしょう。あくまでテニス（硬式テニス）の普及、一般化を計る目的をもって、活動していただきたいと思います。また、そのための、援助の方は、通産省ならびに文部省の方が積極的に行っていただきたいと思います。特に指導者の育成については、民間テニス事業者の方に研修の機会を作っていただくことも必要かと思ひます。

テニス振興のために頑張ってください。

現在、テニス部に指導者がいないため、ほとんど活動しておらず、先輩もほとんど部活に参加しないため、クラブ運営や技術的なこと、マナーなど指導されることがありません。民間クラブに参加している経験者が中心となって、練習を細々としているのが現状で、技術向上や試合にむけての目標を持って行われる練習もされていないようです。

せつかく高校3年間という体力的にも時間的にも充実したときに、部活を通じて技術的向上、精神力の練成、達成感、コート上のマナーなど、学習、習得できればいいのと思うのですが、現状を見る限り残念です。

テニスの青少年への普及には、（特に正しい技術面の習得という観点からは）学校だけでは不十分。現在、テニスをしている青少年は、才能はあるが良い指導者にコーチを受ける機会がなく、向上できない人も多いのではないかと思う。民間テニス事業者に、その部分の橋渡しを望みたいが、問題は費用（コーチ料、設利用料 etc）の問題を如何に解決するか？ということにもあると思う。

利用料金、指導料金等、金銭的な配慮を。

レンタルコートの料金をもっと下げてほしいと思う。

テニスに限らず、スポーツの持つ本来の楽しさを子どもに伝えていただきたい。また、学校の部活動という集団活動の良い点を残しながら、専門的な技術指導をしていただければ一番良いと思います。

自発的にテニスを始めるのに、経済的、地域的、時間的に無理がある生徒にきっかけを与えるため、学校に無料体験レッスンのクーポン券を置いてもらい、テニスの楽しさを味わってもらいたいのか。さらにテニスに打ち込みたい生徒や才能のある生徒に事業者で基金をプールしておき、スカラシップ制度を設け、ジュニアのすそ野を拡大してほしい。

「テニス」と聞くとやはり贅沢、高い授業料というイメージがする。広いコートに最大4人で使用というもったいないブルジョアのイメージです。自分は中学時代、軟式テニス、短大時代、硬式テニス同好会に入っていたので興味はあり、今でも近所の小学校の施設利用でのテニスクラブに入っています。もっと、気軽にできるようになればと思います。

現在、子どもが在籍している学校は都心にあるので、部員の人数に対して、コート数や練習場所が不足している状態です。部活ではなかなかうてないので、自宅近くのテニススクールに通っている友達も多いようです。学校と民間テニス事業者が連携していただいて、学校の近くでも練習できる場所があればありがたいです。(できれば安価で)

テニススクールなどに集まってきた他学校の生徒同志がそこで一つのクラブとして活動できるように指導していただくと良いと思います。

中途半端な連携ではなく、やるからには子供達が満足してテニスができるようにしてもらいたい。

実際に事業所を営んでいるので、常に子ども達の教育という観点に配慮が必要と考えている。

まず必ず学校内の部活が主であること。コーチ等が学校に出向き、きちんとした年間カリキュラムを部活の先生と決め指導に当てほしい。

週2・3日の部活を学校で行い、それ以上の活動を望む子ども達をテニスクラブでのコートの空きのあるときに2・3日指導してほしい。ただ、部活である限り、勝つことばかりを望むことのないようにしてほしい。また、学校の先生とのコミュニケーションも大切にしてほしい。(2人の間で子どもが困ることのないよう)あくまでも部活という形なのでお金に関してのあまり負担がないことが望ましいと思う。

中学校には前にはクレーのコートがありましたが、今では草むらになりテニス部はありません。小学校からテニスを始めて中学で部活も同時にと思っていましたが、願いはかないませんでした。理由は指導する先生が一人もいない事を学校側が一部の部活をのぞいて部活に対して、特に(運動部)に対しての積極的な取組む姿勢がないからです。近くに市が管理するテニスコートができたりもして、地域のスポーツに対する関心が深まりつつある今、是非学校も子ども達のためにいろいろなスポーツ部活動ができる場と、指導者とスポーツする気持ちを育ててほしいと思っています。千葉県はスポーツ振興都市と呼ばれていますが、地域学校によっては、あまりに差があると思います。是非、民間テニス事業者の積極的な介入参加をお願いしたいと思います。学校にも硬式テニスをやりたがっている子はいるのです。

子どもの通っている学校は、軟式テニスなのですが、高校に行くと硬式の方が多いので、中学でも、もっと硬式テニスができれば良いと思っています。

テニス部に限らず、利用できる施設があれば利用し、学校とはちがう経験ができると思う。

公立中学校には、硬式テニス部がありません。ジュニア登録に関係しているトーナメントには出場できませんが、神奈川県中学校テニス選手権等の試合には出場できませんでした。神奈川県中学校テニス連盟、通学する中学校ともに、出場できるよう働きかけましたが、よい返事はもらえませんでした。やる気や興味のある子どもの芽をつんでしまっているのではないのでしょうか。早く学校と民間スポーツクラブの連携をしてほしいと思います。また、そろそろ学校の部活もソフトテニスから硬式テニスに移行する時期ではないかと思います。産みの苦しみはあると思いますが、早急な取り組みを期待します。

民間テニス事業者のコートは少し高いと思うので、割安にコートのみを借りて、学校の先生がコーチをすると、学校とは違った環境でテニスができ、良いのではないかと思う。

学生が利用するのであれば、学割などの制度があると良い。民間であるのであれば、学校にない自由な感じと、もっと専門的な基礎体力や筋トレ等)トレーニングを幅広く教えてほしい。

連携にあまり賛成はしないに をしました。なぜならば、良い素質を持った生徒が一人いれば、その子に力を入れ、他の生徒に対しての指導がおろそかになる恐れがあると思います。もちろん試合になれば、勝つことは目的です。しかし、学校の部活はそれのみではないと考えております。楽しくでき、そのスポーツがますます好きになるような指導を望みます。

中・高生時代は、頭も体も柔軟性があり、吸収力も高いと思います。その年代に、基を学び、楽しくテニスをする事で、人間形成においても収穫は大きいと思います。実際、我が子も中学生時代にこれだけ打ちこめるものがあって、幸せだったと思っています。学校の部活には部活の、テニススクールにはスクールの良い点があると思います。月に1~2回でも、練習の時、コーチしてもらえるのも、子供達には、刺激があって良いと思います。

